

活躍・表彰 おめでとうございます

消防庁長官・ (財)日本消防協会表彰

永年にわたり消防団活動に尽力された功績が認められ、次の3名の方々が表彰されました。

■消防庁長官表彰 永年勤続功労賞

照井 勇一さん(土崎北部)

大坂 久男さん(佐野)

■(財)日本消防協会表彰 功績賞

佐々木徹男さん(上中野町)



▲写真左から照井勇一さん、大坂久男さん、佐々木徹男さん

元気なふるさと 秋田づくり県民運動

秋田県仙北地域振興局が主催する「元気なふるさと秋田づくり県民運動」の表彰式が3月2日に大仙市で行われました。美郷町からは、国民文化祭あきた2014「アクアJAZZフェスティバル in MISATO」でも多くの観客を魅了した「美郷ジャズオーケストラ」が受賞しました。3月4日には、美郷ジャズオーケストラの扇田亮さんが役場庁舎を訪れ、松田町長に受賞を報告しました。



▲写真左から扇田亮さん、松田町長

訃報

元六郷町長 京野大三さん死去(享年95歳)



元六郷町長の京野大三さん(秋田市在住)が3月11日にご永眠されました。

京野さんは、昭和63年7月から平成8年7月まで六郷町長として2期8年務め、地方自治発展のため多大な貢献をされました。

ご生前の功績を偲び、心からのご冥福をお祈りいたします。

地方自治の功績をたたえ 叙位を受章

叙位 従六位 元千畑町長 故 高橋 玲さん(土崎南部)

元千畑町長で昨年11月に逝去された高橋玲さんがこのたび、従六位の叙位を受章されました。

高橋さんは、昭和57年7月から昭和60年年9月まで千畑村助役として、昭和61年5月から平成10年5月まで千畑町長として3期12年務め、地方自治発展のために多大な貢献をされました。平成17年には旭日双光章を受章されています。

みんなで さ っとずつ もっ と いい 町 へ 美郷町合併10周年記念事業

美郷の風景写真で魅力探索コンテスト表彰式 美郷の魅力をみんなで語る会

3月1日、名水市場湧太郎で「美郷の魅力をみんなで語る会」が開催されました。この会は、美郷町合併10周年を記念して実施した「美郷の風景写真で魅力探索コンテスト」を通じて再発見した町の魅力について、町内外の視点から語り合おうと行われたものです。

会に先立ち同コンテスト表彰式が行われ、受賞した各風景の概要が紹介されるとともに、入賞者8名に表彰状が贈られました。

続くパネルディスカッションでは、同コンテストで審査員を務めた秋田公立美術大学講師で人類学者の石倉敏明さん、日本航空株式会社秋田支店長の天川谷茂さん、町内カフェオーナーの高階百合さん、松田町長の4名がパネリストを務め、審査員長で美術家の鴻池朋子さんがコーディネーターを務めました。

石倉さんは、「最近、風景資本という言葉が使われている。今回受賞した風景を都会に人工的に作ろうと思ってもできるものではなく、貨幣価値には換算できない」と町の持つ自然風景を評価しました。

天川谷さんは、「秋田県人は『いいところなんてなんもねえ』とよく言うが、足元に素晴らしいものが広がっている。『なんもね』という言葉をやめ、一人ひとりが恥ずかしがらずに町の魅力を外に発信することが美郷町の観光の第一歩」と提言しました。

高階さんは、「コンテストの審査を通じて、六郷、仙南の『私の勝手な観光ポイント』が増えた。この良さを外にどう広げてい

くかを考えていく必要がある」と今後の課題を挙げました。

鴻池さんは、「秋に黄金色に実った稲穂を見るだけでも、十分すごい風景だった。人を呼び込むには特別なイベントがなくてもいいと思う。今は一人で散策に来る人も多いので、人の家の夕食に招かれるようなツアーがあったら面白い」とアイデアを出しました。

松田町長は、「既成概念にとらわれず、新たな価値観を見出すこともまちづくりでは大切。具体的に何ができるかを模索していきたい」と今後の抱負を述べました。



若松節朗講演会

3月17日、美郷町公民館において秋田大学客員教授で映画監督の若松節朗さんによる講演会が開催されました。美郷町合併10周年を記念して、町と秋田大学が主催したもので、美郷中学校や六郷高校の生徒や町民の方など、約360名が参加しました。



若松さんは「ボク映画監督やってます一映画には生きるヒントがいっぱい！」と題して講演しました。始めに「ホワイトアウト」や「沈まぬ太陽」など、自身が制作した作品の概要や撮影現場の様子をまとめた映像を公開。映画制作には照明や音楽、カメラマンなど100名を超えるスタッフが携わっていることを挙げ、「スタッフ一人ひとりに責任を与えるようにしている。人は頼られると自分の存在価値を見出し、さらに意欲を持って取り組んでくれる」と監督として心掛けていることを紹介しました。

また、各作品に込めたテーマとして、「『^{さくらざか} 柘榴坂の仇討』は現代人が忘れがちな日本人としての美学」、「『^{あだうち} チキンレース』は命を大切にしない時代に生きることの楽しさ」とし、「このドラマや映画が何を言いたいかを考えて見てもらえれば、作り手としてうれしい」と話しました。

講演会の終盤には、会場に集まった人たちに向かって「美郷町は皆さんの誇りであり、居場所でもある。この町をこよなく愛して、いろんな夢を見て飛び立って、何らかの形で戻ってくる。そんな町にしてほしい」とメッセージを送りました。